

令和7年度学校評価報告書（総合コース）

池上学院高等学校

令和7年12月に職員、生徒・保護者に対して行ったアンケートに基づき自己評価を行いました。

令和8年2月18日に学校関係者委員12名、校内委員16名による学校関係者評価会議を行い、次の通り学校評価報告書としてまとめましたのでご報告いたします。

1 本校の教育理念

- *生徒本来の良さを見出し、認めて、励まし、引き出す”愛情教育”
- *基礎・基本を重視し、「わかる喜び」、「学ぶ楽しさ」、「やったらできた」という感動と自信の実現
- *社会的自立をし、人のために貢献できる人間の育成

2 年度方針

池上品質～不易流行の追求～

3 自己評価・学校関係者評価の概要と改善の方策

〈評価記号の説明〉 ○：肯定的な評価 ●：改善すべき課題

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ○教育理念については職員に十分周知されている。 ○出退勤管理の徹底、効率的な会議等の推進により、働き方改革が進んでいる。 ○ハラスメント等の重大案件の発生もなく職員にコンプライアンス意識は醸成されている。 ●仕事量や業務バランスについてさらに改善を図る必要がある。 ●個人情報の管理についての危機管理意識はさらに高める必要がある。 ●研修の年間計画を示し、教科指導や生徒対応に関する研修を充実させる必要がある。 ●荒天等の災害に対する学校の対応の連絡は迅速に行われているが、日々の教育活動について保護者や外部に情報が十分つたえられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育理念の明確化については、年々数値が上がっていることから成果がでていいると考えられる。 ○コンプライアンスの遵守について、学校としてしっかりと取り組まれていることがわかる。 ○このたびの学校評価はとてよ細やかな調査結果・分析が行われ、池上学院高校はいろいろなことに真摯に取り組まれているということがわかった。 ●研修について計画的に、さらに研修内容の充実を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)組織の見直しを図るとともに、会議や打ち合わせの効果的な持ち方について再検討する。 (2)年間の研修計画を立てるとともに、実務に直結する研修内容の充実を図る。 	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○業務分担、連絡、調整は組織改革により改善が図られた。 ○施設・設備についての整備・保全については十分行われている。 ●職員が検討したり共通理解を図ったりする会議を充実させる必要がある。 ●職員の緊急連絡体制の確立が必要である。 ●ICTの活用・業務の効率化については、全体の底上げを図るための研修が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○組織改革により先生方の業務分担が改善されたことは評価できる。 ●共通理解を図るための会議の在り方に問題があるので、課題の解決に向けて詳細な分析をして改善を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)組織の見直しを図るとともに、会議や打ち合わせの効果的な持ち方について再検討する。 (2)情報の共有や円滑なコミュニケーションを図るツールとして、ICTのさらなる有効活用を組織的に推進する。 	
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒募集は広報室が中心になり、全職員が一体となって取り組む意識が十分醸成され協働体制が確立している。 ○様々な手段をフル活用して、本校の特色を外部に発信できている。 ●来年度から大幅に変更になるスクーリングやレポート学習のしくみについて未確定な部分が多く、職員の共通認識を図ることができなかったことから、十分な広報活動ができなかった。 ●SNSを積極的に活用した広報活動を展開しているが、今後も他校の動向や社会情勢に敏感になり、複数のメディアを組み合わせた募集を推進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報活動については総体的に評価は高い。 ●池上学院のよさが中学校にしっかりと伝える必要があるという課題がある。また、学校訪問についてはただ数を増やせばいいということではなく、どう伝えるのか、何を伝えるのかといったところの工夫が必要である。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)広報活動は職員の共通認識を図るとともに全校体制で取り組む。 (2)本校の特色を広く正確に伝えるため、SNSの積極的活用など多様な方法を駆使し、生徒・保護者、関係機関への周知を図る。 	
教育活動全般	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人ひとりに寄り添った活動や学校行事は充実している。 ○生徒の個人データの管理の徹底は図られている。 ○ICT機器や教務システムなどが授業や校務で十分に活用されるようになったことから、教育のICT化が十分図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動全般の評価が高い。特に行事の評価については、職員、生徒・保護者ともに評価が高く素晴らしい。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)新しい学習システムの導入に関わり、円滑かつ効果的な運用ができるような体制整備及び研修の充実を図る。 (2)教育のICT化の推進においては、人間的な関わりの重要性を踏まえつつ、効果的な活用方法についての研究を進める。 	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学級・キャンパス運営	<p>○生徒・保護者への情報提供については、「安心・安全メール」の積極的な活用により充実が図られている。</p> <p>○サポートの必要な生徒に対する指導は、保護者や関係部署と連携を図り十分行われている。</p> <p>○多様な生徒に対するきめ細やかな指導の充実が図られている。</p> <p>●教育環境の維持・改善については十分図られているが、生徒の2割ができていないという認識をもっている。</p>	<p>○生徒・保護者の見方は個々にはいろいろあるところであるが、全体的に評価は高い結果となっている。</p>
改善策	<p>(1)業務の効率化により生み出された余裕を、一人ひとりの生徒に応じた指導の充実に生かす取り組みを推進する。</p> <p>(2)指導を円滑に進めるために、さらなる情報の共有化を図る。</p>	
学習指導	<p>○個に応じた学習指導については充実が図られている。</p> <p>○報告課題の作成、添削、管理について、職員は概ねできているという認識をもっている。</p> <p>○大半の生徒がスクーリングを計画的に進めることができている。</p> <p>○多くの生徒がタブレットによるレポート学習をスムーズに行うことができている。</p> <p>●スクーリングが生徒の関心や意欲を高めたり、基礎・基本の定着を図ったりするものになっていないという認識をもっている職員が相当数いる。</p> <p>●学習支援の授業が、「基礎的で理解しやすい」、「分かりやすく興味ややる気を起こさせる」といった認識をもっている生徒は少ない。</p>	<p>○学習指導に対する生徒や保護者の評価は高く満足している結果となっているが、教員の評価が年々下がっている理由をしっかりと分析する必要がある。</p> <p>●関心や意欲を高める学習指導や基礎・基本の定着を図る学習指導について、職員の評価が一昨年度と比べてかなり低いのは、レベルが下がったというよりは、教員の求めるものが高くなったからではないかと考える。</p> <p>●学習支援の授業の工夫・改善が必要ではないか。</p>
改善策	<p>(1)新しい学習システムを生かした、面接指導及び添削指導の工夫・改善を図る。</p> <p>(2)総合コースが抱える課題解決に向けて、組織的に取り組める体制づくりをする。</p>	
生徒支援	<p>○いじめ・ネットトラブルその他の安全教育が適切に行われている。</p> <p>○特別活動等を通じて、生徒の主体性を育もうとする取り組みが進められるようになった。</p> <p>●スクーリング等の学校生活の秩序が保たれていないと認識している生徒が3割程度いる。</p>	<p>○適切な生徒支援・生徒指導が行われていることが伺える。</p>
改善策	<p>(1)いじめ・ネットトラブル等に対する教員の実践的な指導力を高める取り組みの充実を図る。</p> <p>(2)生徒の主体性を育む、効果的な特別活動等を教育活動に積極的に取り入れる。</p>	
進路指導	<p>○生徒の進路に関わる諸手続きについては確実に行うことができている。</p> <p>●生徒が主体的に進路選択できるような、計画的・組織的な進路指導は十分には図られていない。</p> <p>●生徒の進路選択・決定にあたり、保護者との連携ができているが、1,2年次生については十分に連携ができているとは言えない。</p>	<p>○進路指導担当の先生がとても丁寧に関わってくれて生徒の進路実現がかなっている。</p> <p>○進学・就職ともに、池上で身につけた力は、確実に次に繋がっている。</p> <p>●進路選択・決定にかかわり、生徒と保護者が家庭において十分な話し合いができるよう、学校は情報提供の充実を図る必要がある。</p>
改善策	<p>(1)卒業年次のみならず、入学後3年間を通して、組織的、計画的、継続的に進路指導を行える体制づくりを推進する。</p> <p>(2)生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができる進路指導の充実を図る。</p>	
生徒・保護者意識	<p>○池上学院高校に入学して周りの人と交流できるようになったという生徒は多い。</p> <p>○池上学院高校に入学して学校生活になじめるようになったという生徒はかなり多い。</p> <p>○池上学院高校に入学して良かったと思っている生徒は多く、そう認識している保護者はさらに多い。</p> <p>●池上学院高校に入学して自信がついてきたという生徒は6割弱で、学校全体と比較して低い。</p> <p>●池上学院高校に入学して将来のことを考えるようになったという生徒は半数程度で、学校全体と比較して低い。</p> <p>●池上学院高校に入学して学習意欲が高まったという生徒は5割程度にとどまり、学校全体と比較して低い。</p>	<p>○中学の時、不登校で学校に通うことが難しかった生徒たちの中には、週5回、制服を着て学校に通いたいという夢をもっている生徒がかなりおり、その夢をかなえさせてくれる素晴らしい学校である。</p> <p>●今年の1年次生からタブレットが導入され自宅にいながらにしてレポートの提出ができるようになったが、2、3年次生は今までどおりペーパーのレポートを学校に来て提出しなければならぬため、年次によって不公平感がある。</p>
改善策	<p>(1)「池上らしさ（手作り感と温かみ）」を再認識し、教職員が一丸となって生徒の人生に深く関与する「伴走型教育」を徹底する。</p>	

令和7年度学校評価報告書（学園前キャンパス）

池上学院高等学校

令和7年12月に職員、生徒・保護者に対して行ったアンケートに基づき自己評価を行いました。

令和8年2月18日に学校関係者委員12名、校内委員16名による学校関係者評価会議を行い、次の通り学校評価報告書としてまとめましたのでご報告いたします。

1 本校の教育理念

- *生徒本来の良さを見出し、認めて、励まし、引き出す”愛情教育”
- *基礎・基本を重視し、「わかる喜び」、「学ぶ楽しさ」、「やったらできた」という感動と自信の実現
- *社会的自立をし、人のために貢献できる人間の育成

2 年度方針

池上品質～不易流行の追求～

3 自己評価・学校関係者評価の概要と改善の方策

〈評価記号の説明〉 ○：肯定的な評価 ●：改善すべき課題

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ○教育理念については職員に十分周知されている。 ○出退勤管理の徹底、効率的な会議等の推進により、働き方改革が進んでいる。 ○ハラスメント等の重大案件の発生もなく職員にコンプライアンス意識は醸成されている。 ●仕事量や業務バランスについてさらに改善を図る必要がある。 ●個人情報の管理についての危機管理意識はさらに高める必要がある。 ●研修の年間計画を示し、教科指導や生徒対応に関する研修を充実させる必要がある。 ●荒天等の災害に対する学校の対応の連絡は迅速に行われているが、日々の教育活動について保護者や外部に情報が十分つたえられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育理念の明確化については、年々数値が上がっていることから成果がでていいると考えられる。 ○コンプライアンスの遵守について、学校としてしっかりと取り組まれていることがわかる。 ○このたびの学校評価はとても細やかな調査結果・分析が行われ、池上学院高校はいろいろなことに真摯に取り組まれているということがわかった。 ●研修について計画的に、さらに研修内容の充実を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)絶対的な仕事量のもとより、時期的に増減する仕事の負担も考慮した業務平準化の取り組みを推進する。 (2)年間の研修計画を立てるとともに、実務に直結する研修内容の充実を図る。 	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○業務分担、連絡、調整は組織改革により改善が図られた。 ○施設・設備についての整備・保全については十分行われている。 ●職員が検討したり共通理解を図ったりする会議を充実させる必要がある。 ●職員の緊急連絡体制の確立が必要である。 ●ICTの活用・業務の効率化については、全体の底上げを図るための研修が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○組織改革により先生方の業務分担が改善されたことは評価できる。 ●共通理解を図るための会議の在り方に問題があるので、課題の解決に向けて詳細な分析をして改善を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)組織の見直しを図るとともに、会議や打ち合わせの効果的な持ち方について再検討する。 (2)情報の共有や円滑なコミュニケーションを図るツールとして、ICTのさらなる有効活用を組織的に推進する。 	
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒募集は広報室が中心になり、全職員が一体となって取り組む意識が十分醸成され協力体制が確立している。 ○様々な手段をフル活用して、本校の特色を外部に発信できている。 ●来年度から大幅に変更になるスクリーニングやレポート学習のしくみについて未確定な部分が多く、職員の共通認識を図ることができなかったことから、十分な広報活動ができなかった。 ●SNSを積極的に活用した広報活動を展開しているが、今後も他校の動向や社会情勢に敏感になり、複数のメディアを組み合わせた募集を推進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報活動については総体的に評価は高い。 ●池上学院のよさが中学校にしっかり伝える必要があるという課題がある。また、学校訪問についてはただ数を増やせばいいということではなく、どう伝えるのか、何を伝えるのかといったところの工夫が必要である。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)広報活動は職員の共通認識を図るとともに全校体制で取り組む。 (2)本校の特色を広く正確に伝えるため、SNSの積極的活用など多様な方法を駆使し、生徒・保護者、関係機関への周知を図る。 	
教育活動全般	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人ひとりに寄り添った活動や学校行事の充実している。 ○生徒の個人データの管理の徹底は図られている。 ○ICT機器や教務システムなどが授業や校務で十分に活用されるようになったことから、教育のICT化が十分図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動全般の評価が高い。特に行事の評価については、職員、生徒・保護者ともに評価が高く素晴らしい。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)新しい学習システムの導入に関わり、円滑かつ効果的な運用ができるような体制整備及び研修の充実を図る。 (2)教育のICT化の推進においては、人間的な関わりの重要性を踏まえつつ、効果的な活用方法についての研究を進める。 	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学級・キャンパス運営	<p>○教育環境の維持・改善について、十分図られている。</p> <p>○生徒・保護者への情報提供については、「安心・安全メール」の積極的な活用により充実が図られている。</p> <p>○サポートの必要な生徒に対する指導は、保護者や関係部署と連携を図り十分行われている。</p> <p>○多様な生徒に対するきめ細やかな指導の充実が図られている。</p>	<p>○生徒・保護者の見方は個々にはいろいろあるところであるが、全体的に評価は高い結果となっている。</p>
改善策	<p>(1)業務の効率化により生み出された余裕を、一人ひとりの生徒に応じた指導の充実生かす取り組みを推進する。</p> <p>(2)指導を円滑に進めるために、さらなる情報の共有化を図る。</p>	
学習指導	<p>○個に応じた学習指導については充実が図られている。</p> <p>○報告課題の作成、添削、管理について、職員は概ねできているという認識をもっている。</p> <p>○大半の生徒がスクーリングを計画的に進めることができている。</p> <p>○多くの生徒がタブレットによるレポート学習をスムーズに行うことができている。</p> <p>●関心や意欲を高める学習指導や基礎・基本の定着を図る学習指導について、職員はまだ十分であるという認識はもっていない。</p>	<p>○学習指導に対する生徒や保護者の評価は高く満足している結果となっているが、教員の評価が年々下がっている理由をしっかりと分析する必要がある。</p> <p>●関心や意欲を高める学習指導や基礎・基本の定着を図る学習指導について、職員の評価が一昨年度と比べてかなり低いのは、レベルが下がったというよりは、教員の求めるものが高くなったからではないかと考える。</p>
改善策	<p>(1)新しい学習システムを生かした、面接指導及び添削指導の工夫・改善を図る。</p> <p>(2)スクーリングと学習支援の特色を生かした学習指導の充実を図る。</p>	
生徒支援	<p>○スクーリング等の学校生活は、秩序が保たれ、教員間の連携、共通理解の下で適切な生徒支援ができている。</p> <p>○いじめ・ネットトラブルその他の安全教育が適切に行われている。</p> <p>○特別活動等を通じて、生徒の主体性を育もうとする取り組みが進められるようになった。</p>	<p>○適切な生徒支援・生徒指導が行われていることが伺える。</p>
改善策	<p>(1)いじめ・ネットトラブル等に対する教員の実践的な指導力を高める取り組みの充実を図る。</p> <p>(2)生徒の主体性を育む、効果的な特別活動等を教育活動に積極的に取り入れる。</p>	
進路指導	<p>○生徒の進路に関わる諸手続きについては確実に行うことができている。</p> <p>●生徒が主体的に進路選択できるような、計画的・組織的な進路指導は十分には図られていない。</p> <p>●生徒の進路選択・決定にあたり、保護者との連携ができているが、1,2年次生については十分に連携ができているとは言えない。</p>	<p>○進路指導担当の先生がとても丁寧に関わってくれて生徒の進路実現がかなっている。</p> <p>○進学・就職ともに、池上で身についた力は、確実に次に繋がっている。</p> <p>●進路選択・決定にかかわり、生徒と保護者が家庭において十分な話し合いができるよう、学校は情報提供の充実を図る必要がある。</p>
改善策	<p>(1)卒業年次のみならず、入学後3年間を通して、組織的、計画的、継続的に進路指導を行える体制づくりを推進する。</p> <p>(2)生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができる進路指導の充実を図る。</p>	
生徒・保護者意識	<p>○池上学院高校に入学して学習意欲が高まったという生徒は多く、保護者もそう認識している。</p> <p>○池上学院高校に入学して自信がついてきたという生徒は多い。</p> <p>○池上学院高校に入学して学校生活になじめるようになったという生徒はかなり多い。</p> <p>○池上学院高校に入学して将来のことを考えるようになったという生徒は多い。</p> <p>○池上学院高校に入学して良かったと思っている生徒はかなり多く、保護者もそう認識している。</p>	<p>○入学前は何事にも否定的な生徒たちが、3年間の先生たちとの関わりや行事を通して、自己肯定感を育むことができている。</p>
改善策	<p>(1)「池上らしさ(手作り感と温かみ)」を再認識し、教職員が一丸となって生徒の人生に深く関与する「伴走型教育」を徹底する。</p>	

令和7年度学校評価報告書（函館キャンパス）

池上学院高等学校

令和7年12月に職員、生徒・保護者に対して行ったアンケートに基づき自己評価を行いました。

令和8年2月18日に学校関係者委員12名、校内委員16名による学校関係者評価会議を行い、次の通り学校評価報告書としてまとめましたのでご報告いたします。

1 本校の教育理念

- *生徒本来の良さを見出し、認めて、励まし、引き出す”愛情教育”
- *基礎・基本を重視し、「わかる喜び」、「学ぶ楽しさ」、「やったらできた」という感動と自信の実現
- *社会的自立をし、人のために貢献できる人間の育成

2 年度方針

池上品質～不易流行の追求～

3 自己評価・学校関係者評価の概要と改善の方策

〈評価記号の説明〉 ○：肯定的な評価 ●：改善すべき課題

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ○教育理念については職員に十分周知されている。 ○出退勤管理の徹底、効率的な会議等の推進により、働き方改革が進んでいる。 ○ハラスメント等の重大案件の発生もなく職員にコンプライアンス意識は醸成されている。 ●仕事量や業務バランスについてさらに改善を図る必要がある。 ●個人情報の管理についての危機管理意識はさらに高める必要がある。 ●研修の年間計画を示し、教科指導や生徒対応に関する研修を充実させる必要がある。 ●荒天等の災害に対する学校の対応の連絡は迅速に行われているが、日々の教育活動について保護者や外部に情報が十分つたえられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育理念の明確化については、年々数値が上がっていることから成果がでていると考えられる。 ○コンプライアンスの遵守について、学校としてしっかりと取り組まれていることがわかる。 ○このたびの学校評価はとても細やかな調査結果・分析が行われ、池上学院高校はいろいろなことに真摯に取り組まれているということがわかった。 ●研修について計画的に、さらに研修内容の充実を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)絶対的な仕事量のもとより、時期的に増減する仕事の負担も考慮した業務平準化の取り組みを推進する。 (2)年間の研修計画を立てるとともに、実務に直結する研修内容の充実を図る。 	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○業務分担、連絡、調整は組織改革により改善が図られた。 ○施設・設備についての整備・保全については十分行われている。 ●職員が検討したり共通理解を図ったりする会議を充実させる必要がある。 ●職員の緊急連絡体制の確立が必要である。 ●ICTの活用・業務の効率化については、全体の底上げを図るための研修が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○組織改革により先生方の業務分担が改善されたことは評価できる。 ●共通理解を図るための会議の在り方に問題があるので、課題の解決に向けて詳細な分析をして改善を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)組織の見直しを図るとともに、会議や打ち合わせの効果的な持ち方について再検討する。 (2)情報の共有や円滑なコミュニケーションを図るツールとして、ICTのさらなる有効活用を組織的に推進する。 	
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒募集は広報室が中心になり、全職員が一体となって取り組む意識が十分醸成され協働体制が確立している。 ○様々な手段をフル活用して、本校の特色を外部に発信できている。 ●来年度から大幅に変更になるスクーリングやレポート学習のしくみについて未確定な部分が多く、職員の共通認識を図ることができなかったことから、十分な広報活動ができなかった。 ●SNSを積極的に活用した広報活動を展開しているが、今後も他校の動向や社会情勢に敏感になり、複数のメディアを組み合わせた募集を推進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報活動については総体的に評価は高い。 ●池上学院のよさが中学校にしっかり伝える必要があるという課題がある。また、学校訪問についてはただ数を増やせばいいということではなく、どう伝えるのか、何を伝えるのかといったところの工夫が必要である。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)広報活動は職員の共通認識を図るとともに全校体制で取り組む。 (2)本校の特色を広く正確に伝えるため、SNSの積極的活用など多様な方法を駆使し、生徒・保護者、関係機関への周知を図る。 	
教育活動全般	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の個人データの管理の徹底は図られている。 ○ICT機器や教務システムなどが授業や校務で十分に活用されるようになったことから、教育のICT化が十分図られている。 ●生徒一人ひとりに寄り添った活動や学校行事の充実を図っているが生徒の評価が学校全体と比較して6割程度と低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動全般の評価が高い。特に行事の評価については、職員、生徒・保護者ともに評価が高く素晴らしい。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)新しい学習システムの導入に関わり、円滑かつ効果的な運用ができるような体制整備及び研修の充実を図る。 (2)教育のICT化の推進においては、人間的な関わりの重要性を踏まえつつ、効果的な活用方法についての研究を進める。 	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学級・キャンパス運営	<ul style="list-style-type: none"> ○教育環境の維持・改善について、十分図られている。 ○生徒・保護者への情報提供については、「安心・安全メール」の積極的な活用により充実が図られている。 ○サポートの必要な生徒に対する指導は、保護者や関係部署と連携を図り十分行われている。 ○多様な生徒に対するきめ細やかな指導の充実が図られている。 	○生徒・保護者の見方は個々にはいろいろあるところであるが、全体的に評価は高い結果となっている。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)業務の効率化により生み出された余裕を、一人ひとりの生徒に応じた指導の充実に生かす取り組みを推進する。 (2)指導を円滑に進めるために、さらなる情報の共有化を図る。 	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた学習指導については充実が図られている。 ○報告課題の作成、添削、管理について、職員は概ねできているという認識をもっている。 ○大半の生徒がスクーリングを計画的に進めることができている。 ○多くの生徒がタブレットによるレポート学習をスムーズに行うことができている。 ●関心や意欲を高める学習指導や基礎・基本の定着を図る学習指導について、職員はまだ十分であるという認識はもっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導に対する生徒や保護者の評価は高く満足している結果となっているが、教員の評価が年々下がっている理由をしっかりと分析する必要がある。 ●関心や意欲を高める学習指導や基礎・基本の定着を図る学習指導について、職員の評価が一昨年度と比べてかなり低いのは、レベルが下がったというよりは、教員の求めるものが高くなったからではないかと考える。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)新しい学習システムを生かした、面接指導及び添削指導の工夫・改善を図る。 (2)スクーリングと学習支援の特色を生かした学習指導の充実を図る。 	
生徒支援	<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリング等の学校生活は、秩序が保たれ、教員間の連携、共通理解の下で適切な生徒支援ができている。 ○いじめ・ネットトラブルその他の安全教育が適切に行われている。 ○特別活動等を通じて、生徒の主体性を育もうとする取り組みが進められるようになった。 	○適切な生徒支援・生徒指導が行われていることが伺える。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)いじめ・ネットトラブル等に対する教員の実践的な指導力を高める取り組みの充実を図る。 (2)生徒の主体性を育む、効果的な特別活動等を教育活動に積極的に取り入れる。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の進路に関わる諸手続きについては確実に行うことができている。 ●生徒が主体的に進路選択できるような、計画的・組織的な進路指導は十分には図られていない。 ●生徒の進路選択・決定にあたり、保護者との連携ができているが、1,2年次生については十分に連携ができているとは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路指導担当の先生がとて丁寧に関わってくれて生徒の進路実現がなっている。 ○進学・就職ともに、池上で身についた力は、確実に次に繋がっている。 ●進路選択・決定にかかわり、生徒と保護者が家庭において十分な話し合いができるよう、学校は情報提供の充実を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)卒業年次のみならず、入学後3年間を通して、組織的、計画的、継続的に進路指導を行える体制づくりを推進する。 (2)生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができる進路指導の充実を図る。 	
生徒・保護者意識	<ul style="list-style-type: none"> ○池上学院高校に入学して学習意欲が高まったという生徒は多く、保護者もそう認識している。 ○池上学院高校に入学して自信がついてきたという生徒は多い。 ○池上学院高校に入学して学校生活になじめるようになったという生徒はかなり多い。 ●池上学院高校に入学して将来のことを考えるようになったという生徒は多くはない。 ●池上学院高校に入学して良かったと思っている生徒は多いが、保護者の認識はやや低い。 	○入学前は何事にも否定的な生徒たちが、3年間の先生たちとの関わりや行事を通して、自己肯定感を育むことができている。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)「池上らしさ（手作り感と温かみ）」を再認識し、教職員が丸丸となって生徒の人生に深く関与する「伴走型教育」を徹底する。 	

令和7年度学校評価報告書（帯広キャンパス）

池上学院高等学校

令和7年12月に職員、生徒・保護者に対して行ったアンケートに基づき自己評価を行いました。
 令和8年2月18日に学校関係者委員12名、校内委員16名による学校関係者評価会議を行い、次の通り学校評価報告書としてまとめましたのでご報告いたします。

1 本校の教育理念

*生徒本来の良さを見出し、認めて、励まし、引き出す"愛情教育"
 *基礎・基本を重視し、「わかる喜び」、「学ぶ楽しさ」、「やったらできた」という感動と自信の実現
 *社会的自立をし、人のために貢献できる人間の育成

2 年度方針

池上品質～不易流行の追求～

3 自己評価・学校関係者評価の概要と改善の方策

〈評価記号の説明〉 ○：肯定的な評価 ●：改善すべき課題

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ○教育理念については職員に十分周知されている。 ○出退勤管理の徹底、効率的な会議等の推進により、働き方改革が進んでいる。 ○ハラスメント等の重大案件の発生もなく職員にコンプライアンス意識は醸成されている。 ●仕事量や業務バランスについてさらに改善を図る必要がある。 ●個人情報の管理についての危機管理意識はさらに高める必要がある。 ●研修の年間計画を示し、教科指導や生徒対応に関する研修を充実させる必要がある。 ●荒天等の災害に対する学校の対応の連絡は迅速に行われているが、日々の教育活動について保護者や外部に情報が十分つたえられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育理念の明確化については、年々数値が上がっていることから成果がでていいると考えられる。 ○コンプライアンスの遵守について、学校としてしっかりと取り組まれていることがわかる。 ○このたびの学校評価はとても細やかな調査結果・分析が行われ、池上学院高校はいろいろなことに真摯に取り組まれているということがわかった。 ●研修について計画的に、さらに研修内容の充実を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)絶対的な仕事量のもとより、時期的に増減する仕事の負担も考慮した業務平準化の取り組みを推進する。 (2)年間の研修計画を立てるとともに、実務に直結する研修内容の充実を図る。 	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○業務分担、連絡、調整は組織改革により改善が図られた。 ○施設・設備についての整備・保全については十分行われている。 ●職員が検討したり共通理解を図ったりする会議を充実させる必要がある。 ●職員の緊急連絡体制の確立が必要である。 ●ICTの活用・業務の効率化については、全体の底上げを図るための研修が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○組織改革により先生方の業務分担が改善されたことは評価できる。 ●共通理解を図るための会議の在り方に問題があるので、課題の解決に向けて詳細な分析をして改善を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)組織の見直しを図るとともに、会議や打ち合わせの効果的な持ち方について再検討する。 (2)情報の共有や円滑なコミュニケーションを図るツールとして、ICTのさらなる有効活用を組織的に推進する。 	
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒募集は広報室が中心になり、全職員が一体となって取り組む意識が十分醸成され協力体制が確立している。 ○様々な手段をフル活用して、本校の特色を外部に発信できている。 ●来年度から大幅に変更になるスクーリングやレポート学習のしくみについて未確定な部分が多く、職員の共通認識を図ることができなかったことから、十分な広報活動ができなかった。 ●SNSを積極的に活用した広報活動を展開しているが、今後も他校の動向や社会情勢に敏感になり、複数のメディアを組み合わせた募集を推進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報活動については総体的に評価は高い。 ●池上学院のよさが中学校にしっかり伝える必要があるという課題がある。また、学校訪問についてはただ数を増やせばいいということではなく、どう伝えるのか、何を伝えるのかといったところの工夫が必要である。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)広報活動は職員の共通認識を図るとともに全校体制で取り組む。 (2)本校の特色を広く正確に伝えるため、SNSの積極的活用など多様な方法を駆使し、生徒・保護者、関係機関への周知を図る。 	
教育活動全般	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人ひとりに寄り添った教育活動が行われている。 ○生徒の個人データの管理の徹底は図られている。 ○ICT機器や教務システムなどが授業や校務で十分に活用されるようになったことから、教育のICT化が十分図られている。 ●行事等の特別活動の充実を図っているが、生徒の評価が学校全体と比較して7割5分とやや低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動全般の評価が高く、職員、生徒・保護者ともに評価が高く素晴らしい。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)新しい学習システムの導入に関わり、円滑かつ効果的な運用ができるような体制整備及び研修の充実を図る。 (2)教育のICT化の推進においては、人間的な関わりの重要性を踏まえつつ、効果的な活用方法についての研究を進める。 	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学級・ キャンパス運営	<ul style="list-style-type: none"> ○教育環境の維持・改善について、十分図られている。 ○生徒・保護者への情報提供については、「安心・安全メール」の積極的な活用により充実が図られている。 ○サポートの必要な生徒に対する指導は、保護者や関係部署と連携を図り十分行われている。 ○多様な生徒に対するきめ細やかな指導の充実が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒・保護者の見方は個々にはいろいろあるところであるが、全体的に評価は高い結果となっている。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)業務の効率化により生み出された余裕を、一人ひとりの生徒に応じた指導の充実にかす取り組みを推進する。 (2)指導を円滑に進めるために、さらなる情報の共有化を図る。 	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた学習指導については充実が図られている。 ○報告課題の作成、添削、管理について、職員は概ねできているという認識をもっている。 ○大半の生徒がスクーリングを計画的に進めることができている。 ○多くの生徒がタブレットによるレポート学習をスムーズに行うことができている。 ●関心や意欲を高める学習指導や基礎・基本の定着を図る学習指導について、職員はまだ十分であるという認識はもっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導に対する生徒や保護者の評価は高く満足している結果となっているが、教員の評価が年々下がっている理由をしっかりと分析する必要がある。 ●関心や意欲を高める学習指導や基礎・基本の定着を図る学習指導について、職員の評価が一昨年度と比べてかなり低いのは、レベルが下がったというよりは、教員の求めるものが高くなったからではないかと考える。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)新しい学習システムを生かした、面接指導及び添削指導の工夫・改善を図る。 (2)スクーリングと学習支援の特色を生かした学習指導の充実を図る。 	
生徒支援	<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリング等の学校生活は、秩序が保たれ、教員間の連携、共通理解の下で適切な生徒支援ができている。 ○いじめ・ネットトラブルその他の安全教育が適切に行われている。 ○特別活動等を通じて、生徒の主体性を育もうとする取り組みが進められるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な生徒支援・生徒指導が行われていることが伺える。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)いじめ・ネットトラブル等に対する教員の実践的な指導力を高める取り組みの充実を図る。 (2)生徒の主体性を育む、効果的な特別活動等を教育活動に積極的に取り入れる。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の進路に関わる諸手続きについては確実に行うことができている。 ●生徒が主体的に進路選択できるような、計画的・組織的な進路指導は十分には図られていない。 ●生徒の進路選択・決定にあたり、保護者との連携ができているが、1,2年次生については十分に連携ができているとは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路指導担当の先生がとても丁寧に関わってくれて生徒の進路実現がかなっている。 ○進学・就職ともに、池上で身についた力は、確実に次に繋がっている。 ●進路選択・決定にかかわり、生徒と保護者が家庭において十分な話し合いができるよう、学校は情報提供の充実を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)卒業年次のみならず、入学後3年間を通して、組織的、計画的、継続的に進路指導を行える体制づくりを推進する。 (2)生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができる進路指導の充実を図る。 	
生徒・保護者意識	<ul style="list-style-type: none"> ○池上学院高校に入学して学習意欲が高まったという生徒は多く、保護者もそう認識している。 ○池上学院高校に入学して自信がついてきたという生徒は多い。 ○池上学院高校に入学して学校生活になじめるようになったという生徒はかなり多い。 ○池上学院高校に入学して将来のことを考えるようになったという生徒は多い。 ○池上学院高校に入学して良かったと思っている生徒はかなり多く、保護者もそう認識している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校ほとんど不登校であった生徒が、無理なく学習できる通信制の学習スタイルと先生方の丁寧な指導により3年間続けることができ自信に繋がっている。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)「池上らしさ(手作り感と温かみ)」を再認識し、教職員が一丸となって生徒の人生に深く関与する「伴走型教育」を徹底する。 	

令和7年度学校評価報告書（北見キャンパス）

池上学院高等学校

令和7年12月に職員、生徒・保護者に対して行ったアンケートに基づき自己評価を行いました。

令和8年2月18日に学校関係者委員12名、校内委員16名による学校関係者評価会議を行い、次の通り学校評価報告書としてまとめましたので報告いたします。

1 本校の教育理念

- *生徒本来の良さを見出し、認めて、励まし、引き出す”愛情教育”
- *基礎・基本を重視し、「わかる喜び」、「学ぶ楽しさ」、「やったらできた」という感動と自信の実現
- *社会的自立をし、人のために貢献できる人間の育成

2 年度方針

池上品質～不易流行の追求～

3 自己評価・学校関係者評価の概要と改善の方策

〈評価記号の説明〉 ○：肯定的な評価 ●：改善すべき課題

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ○教育理念については職員に十分周知されている。 ○出退勤管理の徹底、効率的な会議等の推進により、働き方改革が進んでいる。 ○ハラスメント等の重大案件の発生もなく職員にコンプライアンス意識は醸成されている。 ●仕事量や業務バランスについてさらに改善を図る必要がある。 ●個人情報の管理についての危機管理意識はさらに高める必要がある。 ●研修の年間計画を示し、教科指導や生徒対応に関する研修を充実させる必要がある。 ●荒天等の災害に対する学校の対応の連絡は迅速に行われているが、日々の教育活動について保護者や外部に情報が十分つたえられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育理念の明確化については、年々数値が上がっていることから成果がでていると考えられる。 ○コンプライアンスの遵守について、学校としてしっかりと取り組まれていることがわかる。 ○このたびの学校評価はとても細やかな調査結果・分析が行われ、池上学院高校はいろいろなことに真摯に取り組まれているということがわかった。 ●研修について計画的に、さらに研修内容の充実を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)絶対的な仕事量のもとより、時期的に増減する仕事の負担も考慮した業務標準化の取り組みを推進する。 (2)年間の研修計画を立てるとともに、実務に直結する研修内容の充実を図る。 	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○業務分担、連絡、調整は組織改革により改善が図られた。 ○施設・設備についての整備・保全については十分行われている。 ●職員が検討したり共通理解を図ったりする会議を充実させる必要がある。 ●職員の緊急連絡体制の確立が必要である。 ●ICTの活用・業務の効率化については、全体の底上げを図るための研修が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○組織改革により先生方の業務分担が改善されたことは評価できる。 ●共通理解を図るための会議の在り方に問題があるので、課題の解決に向けて詳細な分析をして改善を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)組織の見直しを図るとともに、会議や打ち合わせの効果的な持ち方について再検討する。 (2)情報の共有や円滑なコミュニケーションを図るツールとして、ICTのさらなる有効活用を組織的に推進する。 	
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒募集は広報室が中心になり、全職員が一体となって取り組む意識が十分醸成され協力体制が確立している。 ○様々な手段をフル活用して、本校の特色を外部に発信できている。 ●来年度から大幅に変更になるスクーリングやレポート学習のしくみについて未確定な部分が多く、職員の共通認識を図ることができなかったことから、十分な広報活動ができなかった。 ●SNSを積極的に活用した広報活動を展開しているが、今後も他校の動向や社会情勢に敏感になり、複数のメディアを組み合わせた募集を推進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報活動については総体的に評価は高い。 ●池上学院のよさが中学校にしっかり伝える必要があるという課題がある。また、学校訪問についてはただ数を増やせばいいということではなく、どう伝えるのか、何を伝えるのかといったところの工夫が必要である。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)広報活動は職員の共通認識を図るとともに全校体制で取り組む。 (2)本校の特色を広く正確に伝えるため、SNSの積極的活用など多様な方法を駆使し、生徒・保護者、関係機関への周知を図る。 	
教育活動全般	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人ひとりに寄り添った活動や学校行事の充実している。 ○生徒の個人データの管理の徹底は図られている。 ○ICT機器や教務システムなどが授業や校務で十分に活用されるようになったことから、教育のICT化が十分図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動全般の評価が高い。特に行事の評価については、職員、生徒・保護者ともに評価が高く素晴らしい。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)新しい学習システムの導入に関わり、円滑かつ効果的な運用ができるような体制整備及び研修の充実を図る。 (2)教育のICT化の推進においては、人間的な関わりの重要性を踏まえつつ、効果的な活用方法についての研究を進める。 	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学級・キャンパス運営	<p>○教育環境の維持・改善について、十分図られている。</p> <p>○生徒・保護者への情報提供については、「安心・安全メール」の積極的な活用により充実が図られている。</p> <p>○サポートの必要な生徒に対する指導は、保護者や関係部署と連携を図り十分行われている。</p> <p>○多様な生徒に対するきめ細やかな指導の充実が図られている。</p>	<p>○生徒・保護者の見方は個々にはいろいろあるところであるが、全体的に評価は高い結果となっている。</p>
改善策	<p>(1)業務の効率化により生み出された余裕を、一人ひとりの生徒に応じた指導の充実に生かす取り組みを推進する。</p> <p>(2)指導を円滑に進めるために、さらなる情報の共有化を図る。</p>	
学習指導	<p>○個に応じた学習指導については充実が図られている。</p> <p>○報告課題の作成、添削、管理について、職員は概ねできているという認識もっている。</p> <p>○大半の生徒がスクーリングを計画的に進めることができている。</p> <p>○多くの生徒がタブレットによるレポート学習をスムーズに行うことができている。</p> <p>●関心や意欲を高める学習指導や基礎・基本の定着を図る学習指導について、職員はまだ十分であるという認識はもっていない。</p>	<p>○学習指導に対する生徒や保護者の評価は高く満足している結果となっているが、教員の評価が年々下がっている理由をしっかりと分析する必要がある。</p> <p>●関心や意欲を高める学習指導や基礎・基本の定着を図る学習指導について、職員の評価が一昨年度と比べてかなり低いのは、レベルが下がったというよりは、教員の求めるものが高くなったからではないかと考える。</p>
改善策	<p>(1)新しい学習システムを生かした、面接指導及び添削指導の工夫・改善を図る。</p> <p>(2)スクーリングと学習支援の特色を生かした学習指導の充実を図る。</p>	
生徒支援	<p>○スクーリング等の学校生活は、秩序が保たれ、教員間の連携、共通理解の下で適切な生徒支援ができている。</p> <p>○いじめ・ネットトラブルその他の安全教育が適切に行われている。</p> <p>○特別活動等を通じて、生徒の主体性を育もうとする取り組みが進められるようになった。</p>	<p>○適切な生徒支援・生徒指導が行われていることが伺える。</p>
改善策	<p>(1)いじめ・ネットトラブル等に対する教員の実践的な指導力を高める取り組みの充実を図る。</p> <p>(2)生徒の主体性を育む、効果的な特別活動等を教育活動に積極的に取り入れる。</p>	
進路指導	<p>○生徒の進路に関わる諸手続きについてはほぼ行うことができている。</p> <p>●生徒が主体的に進路選択できるような、計画的・組織的な進路指導は十分には図られていない。</p> <p>●生徒の進路選択・決定にあたり、保護者との連携ができているが、1,2年次生については十分に連携ができているとは言えない。</p>	<p>○進路指導担当の先生がとても丁寧に関わってくれて生徒の進路実現がかなっている。</p> <p>○進学・就職ともに、池上で身についた力は、確実に次に繋がっている。</p> <p>●進路選択・決定にかかわり、生徒と保護者が家庭において十分な話し合いができるよう、学校は情報提供の充実を図る必要がある。</p>
改善策	<p>(1)卒業年次のみならず、入学後3年間を通して、組織的、計画的、継続的に進路指導を行える体制づくりを推進する。</p> <p>(2)生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができる進路指導の充実を図る。</p>	
生徒・保護者意識	<p>○池上学院高校に入学して学習意欲が高まったという生徒は多く、保護者もそう認識している。</p> <p>○池上学院高校に入学して学校生活になじめるようになったという生徒はかなり多い。</p> <p>○池上学院高校に入学して将来のことを考えるようになったという生徒は多い。</p> <p>○池上学院高校に入学して良かったと思っている生徒は多いが、保護者の認識は生徒ほどではない。</p> <p>●池上学院高校に入学して自信がついてきたという生徒は6割強にとどまっている。</p>	<p>○複数の病を抱え高校進学を諦めていた生徒が、受け入れ可能の池上学院高校で、意欲をもって、自分のペースで学習に取り組んでいる。このような学校の存在意義は大きい。</p>
改善策	<p>(1)「池上らしさ(手作り感と温かみ)」を再認識し、教職員が一丸となって生徒の人生に深く関与する「伴走型教育」を徹底する。</p>	

令和7年度学校評価報告書（釧路キャンパス）

池上学院高等学校

令和7年12月に職員、生徒・保護者に対して行ったアンケートに基づき自己評価を行いました。

令和8年2月18日に学校関係者委員12名、校内委員16名による学校関係者評価会議を行い、次の通り学校評価報告書としてまとめましたのでご報告いたします。

1 本校の教育理念

- *生徒本来の良さを見出し、認めて、励まし、引き出す”愛情教育”
- *基礎・基本を重視し、「わかる喜び」、「学ぶ楽しさ」、「やったらできた」という感動と自信の実現
- *社会的自立をし、人のために貢献できる人間の育成

2 年度方針

池上品質～不易流行の追求～

3 自己評価・学校関係者評価の概要と改善の方策

〈評価記号の説明〉 ○：肯定的な評価 ●：改善すべき課題

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ○教育理念については職員に十分周知されている。 ○出退勤管理の徹底、効率的な会議等の推進により、働き方改革が進んでいる。 ○ハラスメント等の重大案件の発生もなく職員にコンプライアンス意識は醸成されている。 ●仕事量や業務バランスについてさらに改善を図る必要がある。 ●個人情報の管理についての危機管理意識はさらに高める必要がある。 ●研修の年間計画を示し、教科指導や生徒対応に関する研修を充実させる必要がある。 ●荒天等の災害に対する学校の対応の連絡は迅速に行われているが、日々の教育活動について保護者や外部に情報が十分つたえられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育理念の明確化については、年々数値が上がっていることから成果がでていいると考えられる。 ○コンプライアンスの遵守について、学校としてしっかりと取り組まれていることがわかる。 ○このたびの学校評価はとて細やかな調査結果・分析が行われ、池上学院高校はいろいろなことに真摯に取り組まれているということがわかった。 ●研修について計画的に、さらに研修内容の充実を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)絶対的な仕事量はもとより、時期的に増減する仕事の負担も考慮した業務平準化の取り組みを推進する。 (2)年間の研修計画を立てるとともに、実務に直結する研修内容の充実を図る。 	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○業務分担、連絡、調整は組織改革により改善が図られた。 ○施設・設備についての整備・保全については十分行われている。 ●職員が検討したり共通理解を図ったりする会議を充実させる必要がある。 ●職員の緊急連絡体制の確立が必要である。 ●ICTの活用・業務の効率化については、全体の底上げを図るための研修が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○組織改革により先生方の業務分担が改善されたことは評価できる。 ●共通理解を図るための会議の在り方に問題があるので、課題の解決に向けて詳細な分析をして改善を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)組織の見直しを図るとともに、会議や打ち合わせの効果的な持ち方について再検討する。 (2)情報の共有や円滑なコミュニケーションを図るツールとして、ICTのさらなる有効活用を組織的に推進する。 	
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒募集は広報室が中心になり、全職員が一体となって取り組む意識が十分醸成され協力体制が確立している。 ○様々な手段をフル活用して、本校の特色を外部に発信できている。 ●来年度から大幅に変更になるスクーリングやレポート学習のしくみについて未確定な部分が多く、職員の共通認識を図ることができなかったことから、十分な広報活動ができなかった。 ●SNSを積極的に活用した広報活動を展開しているが、今後も他校の動向や社会情勢に敏感になり、複数のメディアを組み合わせた募集を推進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報活動については総体的に評価は高い。 ●池上学院のよさが中学校にしっかり伝える必要があるという課題がある。また、学校訪問についてはただ数を増やせばいいということではなく、どう伝えるのか、何を伝えるのかといったところの工夫が必要である。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)広報活動は職員の共通認識を図るとともに全校体制で取り組む。 (2)本校の特色を広く正確に伝えるため、SNSの積極的活用など多様な方法を駆使し、生徒・保護者、関係機関への周知を図る。 	
教育活動全般	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人ひとりに寄り添った活動や学校行事の充実している。 ○生徒の個人データの管理の徹底は図られている。 ○ICT機器や教務システムなどが授業や校務で十分に活用されるようになったことから、教育のICT化が十分図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動全般の評価が高い。特に行事の評価については、職員、生徒・保護者ともに評価が高く素晴らしい。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)新しい学習システムの導入に関わり、円滑かつ効果的な運用ができるような体制整備及び研修の充実を図る。 (2)教育のICT化の推進においては、人間的な関わりの重要性を踏まえつつ、効果的な活用方法についての研究を進める。 	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学級・キャンパス運営	<ul style="list-style-type: none"> ○教育環境の維持・改善について、十分図られている。 ○生徒・保護者への情報提供については、「安心・安全メール」の積極的な活用により充実が図られている。 ○サポートの必要な生徒に対する指導は、保護者や関係部署と連携を図り十分行われている。 ○多様な生徒に対するきめ細やかな指導の充実が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒・保護者の見方は個々にはいろいろあるところであるが、全体的に評価は高い結果となっている。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)業務の効率化により生み出された余裕を、一人ひとりの生徒に応じた指導の充実生かす取り組みを推進する。 (2)指導を円滑に進めるために、さらなる情報の共有化を図る。 	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた学習指導については充実が図られている。 ○報告課題の作成、添削、管理について、職員は概ねできているという認識をもっている。 ○大半の生徒がスクーリングを計画的に進めることができている。 ○多くの生徒がタブレットによるレポート学習をスムーズに行うことができている。 ●関心や意欲を高める学習指導や基礎・基本の定着を図る学習指導について、職員はまだ十分であるという認識はもっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導に対する生徒や保護者の評価は高く満足している結果となっているが、教員の評価が年々下がっている理由をしっかりと分析する必要がある。 ●関心や意欲を高める学習指導や基礎・基本の定着を図る学習指導について、職員の評価が一昨年度と比べてかなり低いのは、レベルが下がったというよりは、教員の求めるものが高くなったからではないかと考える。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)新しい学習システムを生かした、面接指導及び添削指導の工夫・改善を図る。 (2)スクーリングと学習支援の特色を生かした学習指導の充実を図る。 	
生徒支援	<ul style="list-style-type: none"> ○スクーリング等の学校生活は、秩序が保たれ、教員間の連携、共通理解の下で適切な生徒支援ができている。 ○いじめ・ネットトラブルその他の安全教育が適切に行われている。 ○特別活動等を通じて、生徒の主体性を育もうとする取り組みが進められるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な生徒支援・生徒指導が行われていることが伺える。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)いじめ・ネットトラブル等に対する教員の実践的な指導力を高める取り組みの充実を図る。 (2)生徒の主体性を育む、効果的な特別活動等を教育活動に積極的に取り入れる。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の進路に関わる諸手続きについてはほぼ行うことができている。 ●生徒が主体的に進路選択できるような、計画的・組織的な進路指導は十分には図られていない。 ●生徒の進路選択・決定にあたり、保護者との連携ができているが、1,2年次生については十分に連携ができているとは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路指導担当の先生がとても丁寧に関わってくれて生徒の進路実現がかなっている。 ○進学・就職ともに、池上で身につけた力は、確実に次に繋がっている。 ●進路選択・決定にかかわり、生徒と保護者が家庭において十分な話し合いができるよう、学校は情報提供の充実を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)卒業年次のみならず、入学後3年間を通して、組織的、計画的、継続的に進路指導を行える体制づくりを推進する。 (2)生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができる進路指導の充実を図る。 	
生徒・保護者意識	<ul style="list-style-type: none"> ○池上学院高校に入学して学習意欲が高まったという生徒は比較的多い。 ○池上学院高校に入学して自信がついてきたという生徒がいる。 ○池上学院高校に入学して学校生活になじめるようになったという生徒は半数程度いる。 ○池上学院高校に入学して将来のことを考えるようになったという生徒は半数程度いる。 ○池上学院高校に入学して良かったと思っている生徒は多く、保護者もそう認識している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人と関わるのが苦手という生徒が、自らの意志で池上学院高校に入学し、1人では乗れなかったバスにも乗れるようになり、レポート学習も1人でできるようになるなど、徐々に1人でできることが増え自信に繋がっている。このような学校の存在意義は大きい。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)「池上らしさ(手作り感と温かみ)」を再認識し、教職員が一丸となって生徒の人生に深く関与する「伴走型教育」を徹底する。 	

令和7年度学校評価報告書（室蘭キャンパス）

池上学院高等学校

令和7年12月に職員、生徒・保護者に対して行ったアンケートに基づき自己評価を行いました。
令和8年2月18日に学校関係者委員12名、校内委員16名による学校関係者評価会議を行い、次の通り学校評価報告書としてまとめましたのでご報告いたします。

1 本校の教育理念

*生徒本来の良さを見出し、認めて、励まし、引き出す"愛情教育"
*基礎・基本を重視し、「わかる喜び」、「学ぶ楽しさ」、「やったらできた」という感動と自信の実現
*社会的自立をし、人のために貢献できる人間の育成

2 年度方針

池上品質～不易流行の追求～

3 自己評価・学校関係者評価の概要と改善の方策

〈評価記号の説明〉 ○：肯定的な評価 ●：改善すべき課題

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<p>○教育理念については職員に十分周知されている。</p> <p>○出退勤管理の徹底、効率的な会議等の推進により、働き方改革が進んでいる。</p> <p>○ハラスメント等の重大案件の発生もなく職員にコンプライアンス意識は醸成されている。</p> <p>●仕事量や業務バランスについてさらに改善を図る必要がある。</p> <p>●個人情報の管理についての危機管理意識はさらに高める必要がある。</p> <p>●研修の年間計画を示し、教科指導や生徒対応に関する研修を充実させる必要がある。</p> <p>●荒天等の災害に対する学校の対応の連絡は迅速に行われているが、日々の教育活動について保護者や外部に情報が十分つたえられない。</p>	<p>○教育理念の明確化については、年々数値が上がっていることから成果がでていいると考えられる。</p> <p>○コンプライアンスの遵守について、学校としてしっかりと取り組まれていることがわかる。</p> <p>○このたびの学校評価はとても細やかな調査結果・分析が行われ、池上学院高校はいろいろなことに真摯に取り組まれているということがわかった。</p> <p>●研修について計画的に、さらに研修内容の充実を図る必要がある。</p>
改善策	<p>(1)絶対的な仕事量はもとより、時期的に増減する仕事の負担も考慮した業務平準化の取り組みを推進する。</p> <p>(2)年間の研修計画を立てるとともに、実務に直結する研修内容の充実を図る。</p>	
組織運営	<p>○業務分担、連絡、調整は組織改革により改善が図られた。</p> <p>○施設・設備についての整備・保全については十分行われている。</p> <p>●職員が検討したり共通理解を図ったりする会議を充実させる必要がある。</p> <p>●職員の緊急連絡体制の確立が必要である。</p> <p>●ICTの活用・業務の効率化については、全体の底上げを図るための研修が必要である。</p>	<p>○組織改革により先生方の業務分担が改善されたことは評価できる。</p> <p>●共通理解を図るための会議の在り方に問題があるので、課題の解決に向けて詳細な分析をして改善を図る必要がある。</p>
改善策	<p>(1)組織の見直しを図るとともに、会議や打ち合わせの効果的な持ち方について再検討する。</p> <p>(2)情報の共有や円滑なコミュニケーションを図るツールとして、ICTのさらなる有効活用を組織的に推進する。</p>	
広報活動	<p>○生徒募集は広報室が中心になり、全職員が一体となって取り組む意識が十分醸成され協力体制が確立している。</p> <p>○様々な手段をフル活用して、本校の特色を外部に発信できている。</p> <p>●来年度から大幅に変更になるスクーリングやレポート学習のしくみについて未確定な部分が多く、職員の共通認識を図ることができなかったことから、十分な広報活動ができなかった。</p> <p>●SNSを積極的に活用した広報活動を展開しているが、今後も他校の動向や社会情勢に敏感になり、複数のメディアを組み合わせた募集を推進する必要がある。</p>	<p>○広報活動については総体的に評価は高い。</p> <p>●池上学院のよさが中学校にしっかり伝える必要があるという課題がある。また、学校訪問についてはただ数を増やせばいいということではなく、どう伝えるのか、何を伝えるのかといったところの工夫が必要である。</p>
改善策	<p>(1)広報活動は職員の共通認識を図るとともに全校体制で取り組む。</p> <p>(2)本校の特色を広く正確に伝えるため、SNSの積極的活用など多様な方法を駆使し、生徒・保護者、関係機関への周知を図る。</p>	
教育活動全般	<p>○生徒一人ひとりに寄り添った活動や学校行事の充実している。</p> <p>○生徒の個人データの管理の徹底は図られている。</p> <p>○ICT機器や教務システムなどが授業や校務で十分に活用されるようになったことから、教育のICT化が十分図られている。</p>	<p>○教育活動全般の評価が高い。特に行事の評価については、職員、生徒・保護者ともに評価が高く素晴らしい。</p>
改善策	<p>(1)新しい学習システムの導入に関わり、円滑かつ効果的な運用ができるような体制整備及び研修の充実を図る。</p> <p>(2)教育のICT化の推進においては、人間的な関わりの重要性を踏まえつつ、効果的な活用方法についての研究を進める。</p>	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学級・キャンパス運営	<p>○教育環境の維持・改善について、十分図られている。</p> <p>○生徒・保護者への情報提供については、「安心・安全メール」の積極的な活用により充実が図られている。</p> <p>○サポートの必要な生徒に対する指導は、保護者や関係部署と連携を図り十分行われている。</p> <p>○多様な生徒に対するきめ細やかな指導の充実が図られている。</p>	<p>○生徒・保護者の見方は個々にはいろいろあるところであるが、全体的に評価は高い結果となっている。</p>
改善策	<p>(1)業務の効率化により生み出された余裕を、一人ひとりの生徒に応じた指導の充実に生かす取り組みを推進する。</p> <p>(2)指導を円滑に進めるために、さらなる情報の共有化を図る。</p>	
学習指導	<p>○個に応じた学習指導については充実が図られている。</p> <p>○報告課題の作成、添削、管理について、職員は概ねできているという認識をもっている。</p> <p>○大半の生徒がスクーリングを計画的に進めることができている。</p> <p>○多くの生徒がタブレットによるレポート学習をスムーズに行うことができている。</p> <p>●関心や意欲を高める学習指導や基礎・基本の定着を図る学習指導について、職員はまだ十分であるという認識はもっていない。</p>	<p>○学習指導に対する生徒や保護者の評価は高く満足している結果となっているが、教員の評価が年々下がっている理由をしっかりと分析する必要がある。</p> <p>●関心や意欲を高める学習指導や基礎・基本の定着を図る学習指導について、職員の評価が一昨年度と比べてかなり低いのは、レベルが下がったというよりは、教員の求めるものが高くなったからではないかと考える。</p>
改善策	<p>(1)新しい学習システムを生かした、面接指導及び添削指導の工夫・改善を図る。</p> <p>(2)スクーリングと学習支援の特色を生かした学習指導の充実を図る。</p>	
生徒支援	<p>○スクーリング等の学校生活は、秩序が保たれ、教員間の連携、共通理解の下で適切な生徒支援ができている。</p> <p>○いじめ・ネットトラブルその他の安全教育が適切に行われている。</p> <p>○特別活動等を通じて、生徒の主体性を育もうとする取り組みが進められるようになった。</p>	<p>○適切な生徒支援・生徒指導が行われていることが伺える。</p>
改善策	<p>(1)いじめ・ネットトラブル等に対する教員の実践的な指導力を高める取り組みの充実を図る。</p> <p>(2)生徒の主体性を育む、効果的な特別活動等を教育活動に積極的に取り入れる。</p>	
進路指導	<p>○生徒の進路に関わる諸手続きについては確実に行うことができている。</p> <p>●生徒が主体的に進路選択できるような、計画的・組織的な進路指導は十分には図られていない。</p> <p>●生徒の進路選択・決定にあたり、保護者との連携ができているが、1,2年次生については十分に連携ができているとは言えない。</p>	<p>○進路指導担当の先生がとても丁寧に関わってくれて生徒の進路実現がかなっている。</p> <p>○進学・就職ともに、池上で身についた力は、確実に次に繋がっている。</p> <p>●進路選択・決定にかかわり、生徒と保護者が家庭において十分な話し合いができるよう、学校は情報提供の充実を図る必要がある。</p>
改善策	<p>(1)卒業年次のみならず、入学後3年間を通して、組織的、計画的、継続的に進路指導を行える体制づくりを推進する。</p> <p>(2)生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができる進路指導の充実を図る。</p>	
生徒・保護者意識	<p>○池上学院高校に入学して学習意欲が高まったという生徒は多く、保護者もそう認識している。</p> <p>○池上学院高校に入学して自信ができてきたという生徒は半数以上いる。</p> <p>○池上学院高校に入学して学校生活になじめるようになったという生徒は多い。</p> <p>○池上学院高校に入学して将来のことを考えるようになったという生徒は多い。</p> <p>○池上学院高校に入学して良かったと思っている生徒は多く、保護者もそう認識している。</p>	<p>○中学1年生の半ばから不登校になった生徒が、学校見学を機に池上学院校に進学し、入学後、前向きに学習に取り組むようになり、苦手であった外に出かけることも苦にならないまでに成長している。このような生徒にとってなくてはならない学校である。</p>
改善策	<p>(1)「池上らしさ(手作り感と温かみ)」を再認識し、教職員が一丸となって生徒の人生に深く関与する「伴走型教育」を徹底する。</p>	

令和7年度学校評価報告書（旭川キャンパス）

池上学院高等学校

令和7年12月に職員、生徒・保護者に対して行ったアンケートに基づき自己評価を行いました。

令和8年2月18日に学校関係者委員12名、校内委員16名による学校関係者評価会議を行い、次の通り学校評価報告書としてまとめましたのでご報告いたします。

1 本校の教育理念

- *生徒本来の良さを見出し、認めて、励まし、引き出す"愛情教育"
- *基礎・基本を重視し、「わかる喜び」、「学ぶ楽しさ」、「やったらできた」という感動と自信の実現
- *社会的自立をし、人のために貢献できる人間の育成

2 年度方針

池上品質～不易流行の追求～

3 自己評価・学校関係者評価の概要と改善の方策

〈評価記号の説明〉 ○：肯定的な評価 ●：改善すべき課題

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ○教育理念については職員に十分周知されている。 ○出退勤管理の徹底、効率的な会議等の推進により、働き方改革が進んでいる。 ○ハラスメント等の重大案件の発生もなく職員にコンプライアンス意識は醸成されている。 ●仕事量や業務バランスについてさらに改善を図る必要がある。 ●個人情報の管理についての危機管理意識はさらに高める必要がある。 ●研修の年間計画を示し、教科指導や生徒対応に関する研修を充実させる必要がある。 ●荒天等の災害に対する学校の対応の連絡は迅速に行われているが、日々の教育活動について保護者や外部に情報が十分つたえられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育理念の明確化については、年々数値が上がっていることから成果がでていると考えられる。 ○コンプライアンスの遵守について、学校としてしっかりと取り組まれていることがわかる。 ○このたびの学校評価はとて細やかな調査結果・分析が行われ、池上学院高校はいろいろなことに真摯に取り組まれているということがわかった。 ●研修について計画的に、さらに研修内容の充実を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)絶対的な仕事量はもとより、時期的に増減する仕事の負担も考慮した業務平準化の取り組みを推進する。 (2)年間の研修計画を立てるとともに、実務に直結する研修内容の充実を図る。 	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○業務分担、連絡、調整は組織改革により改善が図られた。 ○施設・設備についての整備・保全については十分行われている。 ●職員が検討したり共通理解を図ったりする会議を充実させる必要がある。 ●職員の緊急連絡体制の確立が必要である。 ●ICTの活用・業務の効率化については、全体の底上げを図るための研修が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○組織改革により先生方の業務分担が改善されたことは評価できる。 ●共通理解を図るための会議の在り方に問題があるので、課題の解決に向けて詳細な分析をして改善を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)組織の見直しを図るとともに、会議や打ち合わせの効果的な持ち方について再検討する。 (2)情報の共有や円滑なコミュニケーションを図るツールとして、ICTのさらなる有効活用を組織的に推進する。 	
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒募集は広報室が中心になり、全職員が一体となって取り組む意識が十分醸成され協力体制が確立している。 ○様々な手段をフル活用して、本校の特色を外部に発信できている。 ●来年度から大幅に変更になるスクーリングやレポート学習のしくみについて未確定な部分が多く、職員の共通認識を図ることができなかったことから、十分な広報活動ができなかった。 ●SNSを積極的に活用した広報活動を展開しているが、今後も他校の動向や社会情勢に敏感になり、複数のメディアを組み合わせた募集を推進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報活動については総体的に評価は高い。 ●池上学院のよさが中学校にしっかり伝える必要があるという課題がある。また、学校訪問についてはただ数を増やせばいいということではなく、どう伝えるのか、何を伝えるのかといったところの工夫が必要である。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)広報活動は職員の共通認識を図るとともに全校体制で取り組む。 (2)本校の特色を広く正確に伝えるため、SNSの積極的活用など多様な方法を駆使し、生徒・保護者、関係機関への周知を図る。 	
教育活動全般	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人ひとりに寄り添った活動や学校行事の充実している。 ○生徒の個人データの管理の徹底は図られている。 ○ICT機器や教務システムなどが授業や校務で十分に活用されるようになったことから、教育のICT化が十分図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動全般の評価が高い。特に行事の評価については、職員、生徒・保護者ともに評価が高く素晴らしい。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)新しい学習システムの導入に関わり、円滑かつ効果的な運用ができるような体制整備及び研修の充実を図る。 (2)教育のICT化の推進においては、人間的な関わりの重要性を踏まえつつ、効果的な活用方法についての研究を進める。 	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学級・キャンパス運営	<p>○教育環境の維持・改善について、十分図られている。</p> <p>○生徒・保護者への情報提供については、「安心・安全メール」の積極的な活用により充実が図られている。</p> <p>○サポートの必要な生徒に対する指導は、保護者や関係部署と連携を図り十分行われている。</p> <p>○多様な生徒に対するきめ細やかな指導の充実が図られている。</p>	<p>○生徒・保護者の見方は個々にはいろいろあるところであるが、全体的に評価は高い結果となっている。</p>
改善策	<p>(1)業務の効率化により生み出された余裕を、一人ひとりの生徒に応じた指導の充実にかつ取り組みを推進する。</p> <p>(2)指導を円滑に進めるために、さらなる情報の共有化を図る。</p>	
学習指導	<p>○個に応じた学習指導については充実が図られている。</p> <p>○報告課題の作成、添削、管理について、職員は概ねできているという認識をもっている。</p> <p>○大半の生徒がスクーリングを計画的に進めることができている。</p> <p>○多くの生徒がタブレットによるレポート学習をスムーズに行うことができている。</p> <p>●関心や意欲を高める学習指導や基礎・基本の定着を図る学習指導について、職員はまだ十分であるという認識はもっていない。</p>	<p>○学習指導に対する生徒や保護者の評価は高く満足している結果となっているが、教員の評価が年々下がっている理由をしっかりと分析する必要がある。</p> <p>●関心や意欲を高める学習指導や基礎・基本の定着を図る学習指導について、職員の評価が一昨年度と比べてかなり低いのは、レベルが下がったというよりは、教員の求めるものが高くなったからではないかと考える。</p>
改善策	<p>(1)新しい学習システムを生かした、面接指導及び添削指導の工夫・改善を図る。</p> <p>(2)スクーリングと学習支援の特色を生かした学習指導の充実を図る。</p>	
生徒支援	<p>○スクーリング等の学校生活は、秩序が保たれ、教員間の連携、共通理解の下で適切な生徒支援ができている。</p> <p>○いじめ・ネットトラブルその他の安全教育が適切に行われている。</p> <p>○特別活動等を通じて、生徒の主体性を育もうとする取り組みが進められるようになった。</p>	<p>○適切な生徒支援・生徒指導が行われていることが伺える。</p>
改善策	<p>(1)いじめ・ネットトラブル等に対する教員の実践的な指導力を高める取り組みの充実を図る。</p> <p>(2)生徒の主体性を育む、効果的な特別活動等を教育活動に積極的に取り入れる。</p>	
進路指導	<p>○生徒の進路に関わる諸手続きについては確実に行うことができている。</p> <p>●生徒が主体的に進路選択できるような、計画的・組織的な進路指導は十分には図られていない。</p> <p>●生徒の進路選択・決定にあたり、保護者との連携ができているが、1,2年次生については十分に連携ができているとは言えない。</p>	<p>○進路指導担当の先生がとても丁寧に関わってくれて生徒の進路実現がかなっている。</p> <p>○進学・就職ともに、池上で身についた力は、確実に次に繋がっている。</p> <p>●進路選択・決定にかかわり、生徒と保護者が家庭において十分な話し合いができるよう、学校は情報提供の充実を図る必要がある。</p>
改善策	<p>(1)卒業年次のみならず、入学後3年間を通して、組織的、計画的、継続的に進路指導を行える体制づくりを推進する。</p> <p>(2)生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができる進路指導の充実を図る。</p>	
生徒・保護者意識	<p>○池上学院高校に入学して学習意欲が高まったという生徒は多く、保護者もそう認識している。</p> <p>○池上学院高校に入学して自信がついてきたという生徒は多い。</p> <p>○池上学院高校に入学して学校生活になじめるようになったという生徒はかなり多い。</p> <p>○池上学院高校に入学して将来のことを考えるようになったという生徒は多い。</p> <p>○池上学院高校に入学して良かったと思っている生徒は比較的多く、保護者の多くもそう認識している。</p>	<p>○新入学生は不登校経験者が多く、その理由としては起立性調節障害が圧倒的に多い。池上学院高校はスクーリングは午前中にしか設定されているが、「少しでも出席できるようになればいいですね」声掛けをして進めていくうちに3年間かけて徐々に改善され卒業していく。生徒は確実に変わっていく。このような生徒のようになってはならない学校である。</p>
改善策	<p>(1)「池上らしさ(手作り感と温かみ)」を再認識し、教職員が一丸となって生徒の人生に深く関与する「伴走型教育」を徹底する。</p>	

令和7年度学校評価報告書（苫小牧キャンパス）

池上学院高等学校

令和7年12月に職員、生徒・保護者に対して行ったアンケートに基づき自己評価を行いました。

令和8年2月18日に学校関係者委員12名、校内委員16名による学校関係者評価会議を行い、次の通り学校評価報告書としてまとめましたのでご報告いたします。

1 本校の教育理念

- * 生徒本来の良さを見出し、認めて、励まし、引き出す“愛情教育”
- * 基礎・基本を重視し、「わかる喜び」、「学ぶ楽しさ」、「やったらできた」という感動と自信の実現
- * 社会的自立をし、人のために貢献できる人間の育成

2 年度方針

池上品質～不易流行の追求～

3 自己評価・学校関係者評価の概要と改善の方策

〈評価記号の説明〉 ○：肯定的な評価 ●：改善すべき課題

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ○教育理念については職員に十分周知されている。 ○出退勤管理の徹底、効率的な会議等の推進により、働き方改革が進んでいる。 ○ハラスメント等の重大案件の発生もなく職員にコンプライアンス意識は醸成されている。 ●仕事量や業務バランスについてさらに改善を図る必要がある。 ●個人情報の管理についての危機管理意識はさらに高める必要がある。 ●研修の年間計画を示し、教科指導や生徒対応に関する研修を充実させる必要がある。 ●荒天等の災害に対する学校の対応の連絡は迅速に行われているが、日々の教育活動について保護者や外部に情報が十分つたえられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育理念の明確化については、年々数値が上がっていることから成果がでていいると考えられる。 ○コンプライアンスの遵守について、学校としてしっかりと取り組まれていることがわかる。 ○このたびの学校評価はとても細やかな調査結果・分析が行われ、池上学院高校はいろいろなことに真摯に取り組まれているということがわかった。 ●研修について計画的に、さらに研修内容の充実を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)絶対的な仕事量はもとより、時期的に増減する仕事の負担も考慮した業務平準化の取り組みを推進する。 (2)年間の研修計画を立てるとともに、実務に直結する研修内容の充実を図る。 	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○業務分担、連絡、調整は組織改革により改善が図られた。 ○施設・設備についての整備・保全については十分行われている。 ●職員が検討したり共通理解を図ったりする会議を充実させる必要がある。 ●職員の緊急連絡体制の確立が必要である。 ●ICTの活用・業務の効率化については、全体の底上げを図るための研修が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○組織改革により先生方の業務分担が改善されたことは評価できる。 ●共通理解を図るための会議の在り方に問題があるので、課題の解決に向けて詳細な分析をして改善を図る必要がある。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)組織の見直しを図るとともに、会議や打ち合わせの効果的な持ち方について再検討する。 (2)情報の共有や円滑なコミュニケーションを図るツールとして、ICTのさらなる有効活用を組織的に推進する。 	
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒募集は広報室が中心になり、全職員が一体となって取り組む意識が十分醸成され協力体制が確立している。 ○様々な手段をフル活用して、本校の特色を外部に発信できている。 ●来年度から大幅に変更になるスクーリングやレポート学習のしくみについて未確定な部分が多く、職員の共通認識を図ることができなかったことから、十分な広報活動ができなかった。 ●SNSを積極的に活用した広報活動を展開しているが、今後も他校の動向や社会情勢に敏感になり、複数のメディアを組み合わせた募集を推進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報活動については総体的に評価は高い。 ●池上学院のよさが中学校にしっかり伝える必要があるという課題がある。また、学校訪問についてはただ数を増やせばいいということではなく、どう伝えるのか、何を伝えるのかといったところの工夫が必要である。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)広報活動は職員の共通認識を図るとともに全校体制で取り組む。 (2)本校の特色を広く正確に伝えるため、SNSの積極的活用など多様な方法を駆使し、生徒・保護者、関係機関への周知を図る。 	
教育活動全般	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人ひとりに寄り添った活動や学校行事の充実している。 ○生徒の個人データの管理の徹底は図られている。 ○ICT機器や教務システムなどが授業や校務で十分に活用されるようになったことから、教育のICT化が十分図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動全般の評価が高い。特に行事の評価については、職員、生徒・保護者ともに評価が高く素晴らしい。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> (1)新しい学習システムの導入に関わり、円滑かつ効果的な運用ができるような体制整備及び研修の充実を図る。 (2)教育のICT化の推進においては、人間的関わりの重要性を踏まえつつ、効果的な活用方法についての研究を進める。 	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学級・ キャンパス 運営	<p>○教育環境の維持・改善について、十分図られている。</p> <p>○生徒・保護者への情報提供については、「安心・安全メール」の積極的な活用により充実が図られている。</p> <p>○サポートの必要な生徒に対する指導は、保護者や関係部署と連携を図り十分行われている。</p> <p>○多様な生徒に対するきめ細やかな指導の充実が図られている。</p>	<p>○生徒・保護者の見方は個々にはいろいろあるところであるが、全体的に評価は高い結果となっている。</p>
改善策	<p>(1)業務の効率化により生み出された余裕を、一人ひとりの生徒に応じた指導の充実にかつ取り組みを推進する。</p> <p>(2)指導を円滑に進めるために、さらなる情報の共有化を図る。</p>	
学習指導	<p>○個に応じた学習指導については充実が図られている。</p> <p>○報告課題の作成、添削、管理について、職員は概ねできているという認識もっている。</p> <p>○大半の生徒がスクーリングを計画的に進めることができている。</p> <p>○多くの生徒がタブレットによるレポート学習をスムーズに行うことができている。</p> <p>●関心や意欲を高める学習指導や基礎・基本の定着を図る学習指導について、職員はまだ十分であるという認識はもっていない。</p>	<p>○学習指導に対する生徒や保護者の評価は高く満足している結果となっているが、教員の評価が年々下がっている理由をしっかりと分析する必要がある。</p> <p>●関心や意欲を高める学習指導や基礎・基本の定着を図る学習指導について、職員の評価が一昨年度と比べてかなり低いのは、レベルが下がったというよりは、教員の求めるものが高くなったからではないかと考える。</p>
改善策	<p>(1)新しい学習システムを生かした、面接指導及び添削指導の工夫・改善を図る。</p> <p>(2)スクーリングと学習支援の特色を生かした学習指導の充実を図る。</p>	
生徒支援	<p>○スクーリング等の学校生活は、秩序が保たれ、教員間の連携、共通理解の下で適切な生徒支援ができている。</p> <p>○いじめ・ネットトラブルその他の安全教育が適切に行われている。</p> <p>○特別活動等を通じて、生徒の主体性を育もうとする取り組みが進められるようになった。</p>	<p>○適切な生徒支援・生徒指導が行われていることが伺える。</p>
改善策	<p>(1)いじめ・ネットトラブル等に対する教員の実践的な指導力を高める取り組みの充実を図る。</p> <p>(2)生徒の主体性を育む、効果的な特別活動等を教育活動に積極的に取り入れる。</p>	
進路指導	<p>○生徒の進路に関わる諸手続きについては確実にを行うことができている。</p> <p>●生徒が主体的に進路選択できるような、計画的・組織的な進路指導は十分には図られていない。</p> <p>●生徒の進路選択・決定にあたり、保護者との連携ができているが、1,2年次生については十分に連携ができているとは言えない。</p>	<p>○進路指導担当の先生がとても丁寧に関わってくれて生徒の進路実現がかなっている。</p> <p>○進学・就職ともに、池上で身についた力は、確実に次に繋がっている。</p> <p>●進路選択・決定にかかわり、生徒と保護者が家庭において十分な話し合いができるよう、学校は情報提供の充実を図る必要がある。</p>
改善策	<p>(1)卒業年次のみならず、入学後3年間を通して、組織的、計画的、継続的に進路指導を行える体制づくりを推進する。</p> <p>(2)生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができる進路指導の充実を図る。</p>	
生徒・保護者意識	<p>○池上学院高校に入学して学習意欲が高まったという生徒は多く、保護者もそう認識している。</p> <p>○池上学院高校に入学して自信がついてきたという生徒は多い。</p> <p>○池上学院高校に入学して学校生活になじめるようになったという生徒はかなり多い。</p> <p>○池上学院高校に入学して将来のことを考えるようになったという生徒は半数以上いる。</p> <p>○池上学院高校に入学して良かったと思っている生徒は極めて多く、保護者もそう認識している。</p>	<p>○中学校では不登校であった生徒が、入学当初は、なかなか通うことができなかったが、通信制の学習スタイルに慣れ、徐々に通えるようになり、中学のときにはなかった、学校の様子を家庭で話すようになり、学校に行くのが楽しいと思えるようになってきている。このような生徒にとってなくてはならない学校である。</p> <p>○池上学院高校に入学して良かったと思っている生徒及び保護者とも極めて多くて、素晴らしい学校である。</p>
改善策	<p>(1)「池上らしさ(手作り感と温かみ)」を再認識し、教職員が一丸となって生徒の人生に深く関与する「伴走型教育」を徹底する。</p>	